

専修大学

ばば すぎお
馬場 杉夫

専修大学 学長



佐々木重人前学長の任期満了に伴い、9月1日付で馬場杉夫教授が学長に就任した。

馬場学長は1966年生まれ。1989年慶應義塾大学商学部卒業、1995年同大学院商学研究科後期博士課程単位取得退学。同年、専修大学経営学部講師として着任。その後、助教授を経て、2003年に同学部教授。2005年慶應義塾大学にて博士（商学）取得。専修大学経営学部長、学校法人専修大学理事、同評議員、専修大学大学院経営学研究科長を歴任。

専門は経営学（人的資源管理、戦略マネジメント）。主な著書に『なぜ組織は個を活か

せないのか』（中央経済社）などがある。

専修大学は1880年創立。建学の精神である「社会に対する報恩奉仕」を現代的に捉えなおした「社会知性の開発」を21世紀ビジョンとして掲げる。専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核とし、深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野からの独創的な発想で主体的に社会の諸課題解決に取り組む人材を育む。

新学長のもと、多くのステークホルダーとの対話を通じて、これまで以上に地域や社会の期待に応え、学生がもっとも成長できる大学を目指す。



私大連Presents 学長インタビューシリーズ

学長 ときどき 私

YouTubeで
配信中！



〳 私立大学の多様な個性を支える学長とは、どのような人たちなのか。その個性や素顔に迫ります。〵



Vol.13 松山大学
池上 真人 学長（専門：英語教育学）

成功するまで続ければ、それは失敗ではない

ネットとは違う、リアルな人とのつながりを広げてほしい

Vol.14 文教大学
宮武 利江 学長（専門：日本語学）



都会への一極集中を脱して、豊かな地方をつくるのが重要

Vol.15 東北学院大学
大西 晴樹 学長（専門：イギリス社会経済史）



3学長が並ぶ
バラエティ豊かな番外編
学長ときどき私
「一問一答編」
もオススメ！

永尾 比奈夫（ながおひなお）

天理大学学長。’90カリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院修士課程修了。天理教海外部次長、学校法人天理大学専務理事等を経て、’23より現職。

小原 克博（こはらかつひろ）

同志社大学学長。’96同志社大学大学院神学研究科博士課程（後期課程）修了。博士（神学）。’24より現職。主著『宗教のポリテイクス』。

小林 至道（こばやしのりみち）

青山学院大学アカデミックライティングセンター助教。’13青山学院大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。修士（教育学）。関西大学ライティングラボ特任助教を経て、’17より現職。

飯野 朋美（いのともみ）

津田塾大学ライティングセンター客員講師。津田塾大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得満期退学（米文化）。特任助教、特任講師を経て、’20より現職。

太田 裕子（おたゆうこ）

早稲田大学グローバル・エデュケーション・センター准教授。’09早稲田大学大学院日本

語教育研究科修了。博士。主著『はじめて「質的研究」を書く』あなたへ』など。

土屋 和代（つちやかずよ）

東京大学大学院総合文化研究科教授。カリフォルニア大学サンディエゴ校歴史学研究科博士課程修了。Ph.D.（歴史学）。主著に『福祉権運動のアメリカ』など。

松田 美佐（まつだみさ）

中央大学文学部教授。’96東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。主著『うわさとは何か』など。

勝島 啓介（かつしまけいすけ）

京都精華大学 京都国際マンガミュージアム事務局長。’01京都精華大学大学院芸術研究科造形専攻修了。

茂木 正人（もてきまさひと）

東京海洋大学海洋環境科学部門教授。マリンサイエンスミュージアム館長。’97東京水産大学大学院博士後期課程修了。博士（水産学）。共著『食材魚貝大百科』など。

不動 真優（ふどうまゆう）

国立音楽大学楽器学資料館主任学芸員・課

長補佐。’00国立音楽大学教育学部リトミツク専修卒業。’12より楽器学資料館勤務。

宮田 真也（みやたしんや）

学校法人城西大学水田記念博物館大石化石ギャラリー学芸員・理学部助教。’14早稲田大学創造理工学研究科地球・環境資源理工学専攻博士課程修了。博士（理学）。

児玉 竜一（こだまりゆういち）

早稲田大学文学部教授、演劇博物館長。’98年、早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。歌舞伎学会会長。編著に『能楽・文楽・歌舞伎』（教育芸術社）など。

長佐古 美奈子（ながさこみなこ）

霞会館記念学習院ミュージアム、学習院大学史料館学芸員。’84学習院大学文学部卒。’85より現職。主著『改訂新版』ボンボニエールと近代皇室文化』など。

西中 利也（にしなかとしや）

学校法人名古屋学院大学理事長。’80母校である学校法人名古屋学院大学に入職。事務局長など歴任。’12理事に就任。’248月より現職。

渡邊 英司（わたなべ えいじ）

上智大学ソフィア会事務局長、上智学院総務局ソフィア連携室主幹。’95上智大学文学部社会科学卒業後、上智学院入職、’23より現職。

八木 好郎（やぎ よしろう）

愛知大学同窓会会長。愛知大学法経学部経営学科卒業。

宮地 恵美（みやち えみ）

一般社団法人メンター三田会会長。’82慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程修了。

野田 俊也（のだしゅんや）

東京大学大学院経済学研究科講師。’19スタンフォード大学経済学部博士課程修了。博士（経済学）。ブリティッシュコロンビア大学を経て、’11から現職。

瀬戸 寿一（せと としかず）

駒澤大学文学部准教授。’12立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。博士（文学）。東京大学C S I Sを経て、’21から現職。

赤澤 清孝（あかざわ きよたか）

大谷大学社会学部部長。’00立命館大学大学院修士課程修了。修士（政策科学）。’14大谷大学に着任。’25より現職。共編著『新・学生のためのポランティア論』など。

八木 茂典（やぎ しげのり）

中央大学理工学部准教授。’11東京医科歯科大学医歯学総合研究科生体支持組織学系専攻博士単位取得満期退学。’21より現職。

大黒屋 貴稔（おおぐら やたとし）

聖カタリナ大学健康社会学部部長・教授。’06早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。早稲田大学助手等を経て現職。専門は国際社会学等。

吉田 輝美（よしだ てるみ）

広島修道大学事務局長兼財務部長、学校法人修道学園法人事務局次長。

伊藤 泰彦（いとう やすひこ）

武蔵野大学学生部長・工学部教授。’96東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了。修士（工学）。専門は建築学・こども環境学。

田中 みずき（たなか みずき）

銭湯ペンキ絵師。’08明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻博士前期課程修了。在学中から銭湯絵師・中島盛夫氏に師事。8年半の修業後独立し、多彩な活動を展開中。

川島 葵（かわしま あおい）

上智大学文学部卒業。東海ラジオアナウンサーを経てフリーに。藤井聡太王位就位式や吉沢亮トークショー司会などで活躍。TBS Podcast「Voicy」番組も持つ。

会長の動き

- 9月16日(火) 第5回常務理事会、第5回理事会に出席
- 10月7日(火) 第6回常務理事会に出席
- 10月21日(火) 第7回常務理事会、第6回理事会に出席

開催報告

- 9月8日(月) 理事長会議
- 9月11日(木)～12日(金) 学生支援研究会議
- 9月19日(金) 第1回人事労務部門実務担当者情報交換会「職員人事考課制度改正について」事例紹介と留意点解説
- 9月22日(月)～10月31日(金) 令和7年度第1回「国の補助金等に関する説明会（オンデマンド配信）」
- 10月27日(月) 国際連携委員会シンポジウム
- 10月31日(金) (経営委員会) 大学経営に関する情報交換会

加盟大学学長インタビュー動画
「学長ときどき私」を公開

この動画は、私大連会員大学の学長にフォーカスし、学長としてのお仕事、研究者としての活動、プライベートの過ごし方などをお伺いし、学長の魅力を伝えることを通じて、私立大学での多様な学びや学ぶことの楽しさなど、私立大学の魅力を視聴者にお届けしています。

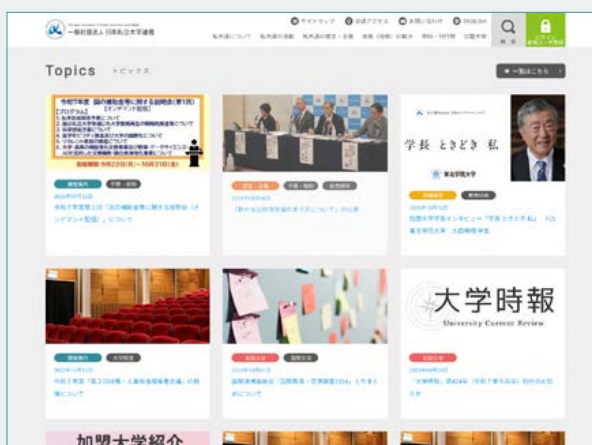
新たに東北学院大学 大西晴樹学長へのインタビュー、一問一答編を公開、今後も随時公開予定です。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLXbCoVKSQta1Rlej5Na3BL2SaCdVsiht>



<https://www.shidairen.or.jp/>

詳細は、私大連Webサイトをご覧ください。



座談会 「生成AIで何が変わるか?—事務室の日常から—」

特集 「大学がまちにひらく—キャンパスから広がる関係性—」

小特集 「大学発マスコットキャラクターの現在地」

だいがくのたから 東海大学

大学点描 中央大学

クローズアップ・インタビュー 鈴木 志保子さん

(公立大学法人神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科研究科長、公認スポーツ栄養士)

編集後記

◆今回、各大学の専門ミュージアムの多様性に驚いた。そして特集6校の事例に関しては、各大学の特徴とミュージアムの専門性がとてもマッチしていると感じた。自校の特色を活かしながら資料を収集し館を運営している。今後も大学の個性を表現したようなミュージアム運営を続けてほしい。また、多くのミュージアムでは海外からの来館者が増えている。京都国際マンガミュージアムに至っては、年間の総来館者数の約3割、8万人もの海外の方々が来館しているそうだ。おそらく旅先としての京都自体の魅力や世界での日本マンガの人氣も影響しているのだろうが、大学が運営しているミュージアムでグローバルに通じる魅力的なコンテンツを用意していることに感嘆した。大学がミュージアムを運営することは、大学の持つ知識や文化を発信することにもつながる。将来的には国内外の一般のミュージアムとの連携などにも期待したい。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・早稲田大学エクステンションセンター事務長兼コンテンツニューイング・エデュケーション推進室課長小泉邦人〉

◆大学を起点とする「出会い」と聞いて、皆様は何を思い浮かべるだろうか。在学中の友人や恩師との関係にとどまらず、卒業後にもさまざまな「出会い」が生まれている。市場や個人の希望を最適な出会いに導くマッチング理論は、より公平で納得感のある制度を実現する仕組みだという。すでに保育所の入所や入試のほか、特定の科目に希望が集中した際に学生の意向をできるだけ反映しながら履修者を調整する履修制限の仕組みにも応用されている。学生だけでなく、大学と卒業生をつなぐ関係の中でも人生のパートナー探しやビジネスの協業や創業支援など、マッチングの場は広がり続けている。人と人を結ぶ大学の力を改めて感じるところだ。今後はAIが、プライベートなマッチング領域にも関わる時代になるだろう。一方で数字では測れない「相性」や「直感」も変わらず大切にされるはずだ。技術と人間的な感覚、両方の行方を静かに見つめていきたい。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・慶應義塾広報室長河越英代〉

◆文章を「書く」、絵を「描く」と同じく、でも全く違うことのようにとらえていたが、共通点が多いのでは?と感じた座談会とインタビューとなった。田中みずきさんは元々絵を描くことが好きだったとのことだが、絵を描くためにはスキルはもちろんのこと、感性や知的好奇心、何よりも「考える」ことが求められていることを知る機会となった。座談会では、生成系AIの登場がもたらす書くことへの影響についても話題となったが、生成系AIが学べるべき文章が枯渇する未来予想において、人間が書く良質な文章がより一層求められ、重要性を増す可能性についても語られた。どちらも「考えてかく」ことが重要であるが、一方において自分らしさも表れる「かく」ということ。田中さんのお話からは、さまざまなヒントが溢れているように感じた時間となった。インタビューは、神田稲荷湯をお借りして撮影を行った。ペンキ絵の中で交錯する時間軸、小さく描かれた狐もぜひご覧いただきたい。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (118大学 令和7年11月20日現在)

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
筑紫女学院大学
中央大学
中央大学
大東文化大学
獨協大学}
獨協医科大学}
姫路獨協大学}
同志社大学}
同志社女子大学}
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡女学院大学}
福岡女学院看護大学}
学習院大学}
学習院女子大学}
白鷗大学
阪南大学
広島女学院大学
広島修道大学
法政大学
実践女子大学
上智大学
城西大学}
城西国際大学}
順天堂大学
金沢星稜大学

関西大学
関西学院大学
関東学院大学
関東学院大学
慶應義塾大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
皇學館大学
國學院大學
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学
甲南大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
九州産業大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学
武蔵大学
武蔵野大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学
南山大学
日本大学
日本女子大学

ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科薬科大学
大阪女学院大学
大谷大学
追手門学院大学
立教大学
立正大学
立命館大学}
立命館アジア太平洋大学}
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
聖路加国際大学
聖心女子大学
専修大学}
石巻専修大学}
芝浦工業大学
白百合女子大学}
仙台白百合女子大学}
昭和女子大学
創価大学
園田学園大学
大正大学
拓殖大学
天理大学

東邦大学
東北学院大学
東北公益文科大学
東海大学
常磐大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京国際大学
東京農業大学}
東京情報大学}
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
和光大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学}
四日市看護医療大学}

大学時報

University Current Review
2025/11月号

第74巻425号(通巻438号)
令和7年11月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 高橋智幸(関西大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidairen.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル 3階
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1
住友不動産虎ノ門タワー 20階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
藤野圭(上智大学ダイバーシティ・サステナビリティ推進室室長)
玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課長)
中谷良規(関西学院広報部企画広報課課長)
河越英代(慶應義塾広報室長)
野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)
大野百合子(立教学院総長室渉外課課長補佐)
勝屋藍太(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学理事長室室長)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
中條賢二(津田塾大学経営企画課課長)
小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務長兼
コンティニューイング・エデュケーション推進室課長)
春名貴明(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
長尾早姫(日本私立大学連盟事務局)
吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

